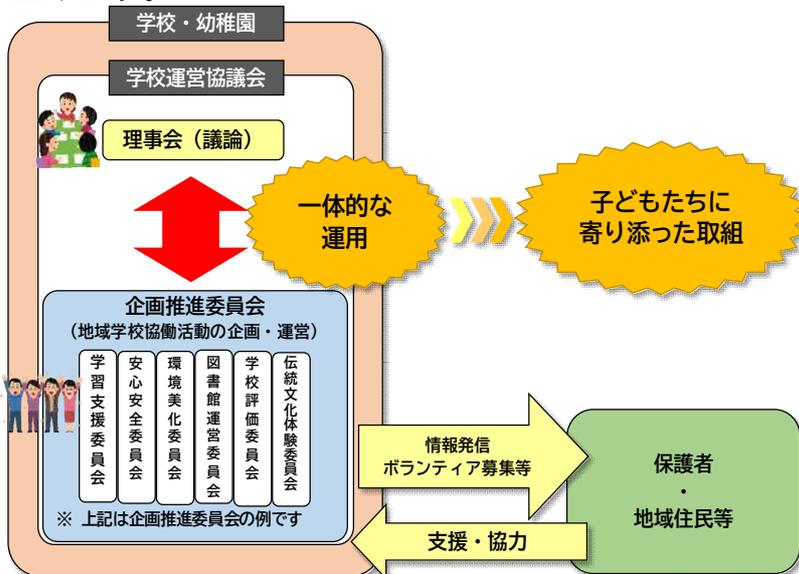


人と人との絆の中で子どもたちが安心して育つために

3年にわたるコロナ禍や世界情勢の不安定化、台風や大雪等の大規模な自然災害などにより、近年は、これまで以上に命の尊さや人と人とのつながりの大切さを実感することとなっています。学校運営協議会に関わる皆様におかれましては、様々な困難の中でも、「子どもたちのために」と一つ一つの活動を積み重ねていただき、心から感謝申し上げます。

学校運営協議会は、地域・保護者・関係機関の皆様「絆」や「信頼」を原動力として、子どもたちを「社会全体」で育む礎です。感染拡大防止で制約があるなど困難に対峙したときも、創意工夫しながら対応する大人の姿を見て、子どもたちは多くを学び、未来を切り拓く力を身に付けていきます。これからも子どもたちの可能性を信じ、学校運営協議会の豊かな活動を通じて、共に子どもたちを支えていただきますよう、お願いいたします。



上賀茂幼稚園、安朱小学校が文部科学大臣表彰を受賞

上賀茂幼稚園学校運営協議会「カモンサポートチーム」

ここが評価されました！



整備後のハイキングコースを登る

「地域の子は地域の手で支え育む」という理念のもと、同園を地域の宝物とし、園行事への支援や、園児に加え地域の方々も参加対象にした賀茂川探鳥会をはじめ地域・保護者・園をつなぐ多様な行事を実施しています。コロナ禍で公共交通機関の使用を控えるようになり、従来園外保育として実施していた登山活動が実施できなくなった際は、学校運営協議会が主体となり、地域の力を総結集して地元のハイキングコース(大田の小径)を整備し、園から徒歩で登山できるコースを確保するなど、ピンチをチャンスと捉え、園児の健やかな成長を力強く支えています。

安朱小学校学校運営協議会

ここが評価されました！



救命学習(安朱子どもコンソーシアム：大学と連携)

「地域を知り、地域を愛し、地域とともに歩みを進め、児童の地域社会参画能力の育成を目指す」ため、理事が教育支援、環境、防犯・安全、広報の各企画推進委員会にも参画し、理事会での議論と企画推進委員会による協働活動を一体的に推進しています。同小学校を真ん中に、近隣の中学校・高校・大学・児童館・地域諸団体・寺社等、様々な智のリソースをつなぎ豊かな学習機会の提供を目指す「安朱子どもコンソーシアム」と密に連携を取りながら、児童と地域の方々がSDGsの観点から持続可能な地域づくりを共に考える取組をはじめ多彩な活動を通して、児童が地域社会とつながり、参画できる機会を創出しています。

子どもたちを真ん中に据えた実践の輪が広がっています

正親小学校 持続可能な学校運営協議会を目指して

正親小学校は、理事や企画推進委員等のメンバーが入れ替わっても、地域・保護者・学校が継続して一体となって取り組める「持続可能な学校運営協議会」を目指し、改革を進めています。

【組織】 その年々のPTA本部が中心となって実施していた「ミッションX」(「防災」をテーマとした地域内オリエンテーリング)を、学校運営協議会の取組に移管し、この取組に参画いただく方々を企画推進委員に任命することで、次年度以降も活動しやすい体制に改めました。

【研修】 理事と校長が京都市内の先進校や福井県の小学校を視察しました。それぞれの地域の特長や多様な取組を知るとともに、改めて自校の良さを再認識する機会となりました。



課題を解く児童・ハンター役の保護者

【コミュニケーション】 理事同士が意見交流できる機会を増やしたり、多くの教職員が企画推進委員会に参加できるように、会議の時間を夜間から教職員の勤務時間内に変更することで、地域の方々と教職員が協働活動について直接話し合う機会となり、日常的な連携がより深まっています。活動・研修・交流等の様子は、理事の協力を得て、地域広報誌「正親だより」からも発信し、地域の方々にも広く知ってもらえるようになっていきます。



企画推進委員会で活発に議論

持続可能な学校運営協議会を目指し、成果と課題を確認しながら、一つ一つ着実に取り組んでいます。

九条中学校ブロック 9年間の学びと育ちを地域ぐるみで支える

九条中学校ブロックでは、「子どもは地域で育つ」を合言葉に、九条中学校・九条弘道小学校・九条塔南小学校の各学校運営協議会の理事長と各校の校長からなる理事長会(小中合同の学校運営協議会)を定期的開催しています。

【議論とフィードバック】 理事長会では、各校の学校運営協議会の活動状況を踏まえ、「地域の人材や教育力を活用し教育の充実を図る」「地域との連携・協働を進め9年間の成長をより確かなものとする」「保育園・保育所と連携し地域ぐるみの子育てを目指す」という3つの視点で議論し、それぞれ取組が連動したものとなるよう、指導・助言を行っています。



地域の方々とともにプランターへ植栽



どうやって植えたら
素敵に見えるかな?

【協働活動】 「通学路を花で飾る事業」を年2回実施しています。これは、地域の方の御指導の下、プランターにお花を植え、それらを小学生・中学生の通学路となるお宅前に置いてもらい、子どもたちの登下校時にお水をやっていただきながら、見守りやふれあいの機会をもってもらおう、というものです。

「あ～楽しかった！」作業の中で思わずもれる子どもたちの素直な声に、地域の方の表情も緩みます。

九条中学校ブロックの小中合同学校運営協議会は、地域とともに歩む小中一貫教育推進の懸け橋となっています。

実践事例の発表動画を公開！

活動充実の
ヒントがいっぱい！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度のコミュニティ・スクールに関する研修会は、デジタルコンテンツを活用し、実践事例の発表等を動画で配信することにしました。



【西院幼稚園】

学校運営協議会に関する地域住民等への周知や広報の充実

「学校運営協議会」を公立幼稚園ならではの強みと捉え、様々な方法でその周知を工夫して実践されている事例
(地域で幼稚園だよりを回覧、園の正門横に子どもたちの作品を展示するギャラリーボードを設置、幼稚園説明会で学校運営協議会を周知 等)

地域で回覧いただく幼稚園だよりで
学校運営協議会の活動を紹介

【七条第三小学校】

地域と学校それぞれが当事者意識を持って共に取り組む
協働活動 ～地域と全学年が連携して進める「地域学習」～
地域と学校双方が子どもたちを育む主体であるという意識を持ち、全学年で協働活動を授業に位置付けるための運営上の工夫や実践をされている事例



地域と教職員が地域学習について話し合い

(「地域学習」実施に向けた学校運営協議会全体会の持ち方、活動のねらいを明確にしながら豊かな授業作りに資する協働活動を進めるための地域と学校の連携に向けた工夫 等)



理事推薦の講師とともに
防災学習を実施

【近衛中学校】

地域とともに進める防災教育

学校評価アンケートで判明した生徒の社会参画に対する意識や家庭での防災意識が十分でないという課題等について、理事会で議論し、生徒と地域・防災をつなぐ取組として、学校運営協議会が学校と協力して防災教育を実践されている事例

(学校評価アンケートを基にした課題認識と理事会での議論、生徒が地域防災の主体を担う体験を学校運営協議会の協力のもとに実施した事例 等)

【その他（教育委員会）】

学校運営協議会とは？

「京都方式の学校運営協議会」の理念や仕組みについて、わかりやすく説明

西院幼稚園	七条第三小学校	近衛中学校	その他（教育委員会）
<p>本動画は、本市の学校運営協議会の理事・企画推進委員向け研修資料であるため、 限定配信としています。</p>			

学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会

本市では、学識経験者や保護者、市民公募委員などの外部委員が第三者的な視点で検証する「学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会」を設置し、本市の学校運営協議会や学校評価の充実に向け、その取組を検証していただくとともに、実際の学校現場を訪問・見学のうえ、より良い教育実践に向けた助言を頂戴するなど、取組の改善につなげています。

(令和4年度訪問校：桂坂小学校、西院中学校)

主な御意見

○教育活動を進めていくうえで、**学校・保護者・地域**にとって学校運営協議会は大切なコミュニティであり、**地域社会の発展**においても重要な役割を担っている。

○時代が進むにつれて変化は生じうる。その中でも、「**学校運営協議会は、学校の教育目標・計画を理解・承認し、支援・応援する。**」という原則を常に確認することが必要。



○現在の学校教育においては、これまで以上に**子どもたちの個性を活かすための仕組み**が必要。一人一人が考え行動し意見を発することが重要になる等、人材育成の在り方も変わっていく中、新たな視点を求めるためには、若い世代も含めた**多様な意見が必要**であり、多様な世代が関わることで、組織はより活性化される。

○学校運営協議会は、地域との連携も含め、教職員自身の教育活動の実践に直接関わるもの。アフターコロナの世界も見据えながら、例えば、地域と連携した体験活動をする前に、活動に関わる地域の方と授業を担当する教職員が直接話し合う機会を設けるなど、**教職員が学校運営協議会に主体的に関わりやすくなる工夫**も含めて検討することが大切。

社会教育委員会議でも議論いただきました

～魅力ある地域学校協働活動の推進のために～

- 学校での学習支援活動を広く情報発信し、目にする方が増えたら、「こんなことをしているんだ」と知ることができる。そして、「ちょっと参加してみようかな」と思える一つのきっかけになるのではないかな。
- 学校運営協議会の体験活動は「**答えがない問い**」を発する場としても意味がある。自分の手を使って体験したことは印象に残る。大人に聞いてもわからないというときに、自分で調べたり、考えたりする習慣が自然に身に付くのではないかなと思う。

社会教育委員会議とは……

各界の有識者の方々に、社会教育・生涯学習の諸計画の立案や、家庭・地域の教育力の向上や文化・伝統・芸術等の豊かな学習資源の活用など生涯学習全般に関し、幅広く審議・助言をいただく組織です。



京都市教育委員会事務局 生涯学習部 学校地域協働推進担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549

電話：075-251-0456 FAX：075-251-0449

URL：<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000038884.html>



掲載している写真は、令和4年度またはそれ以前のもので、本文や図には見やすいユニバーサルフォントを採用しています。

